

事務事業名	財産台帳整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課	
総合計画体系	政策名	(VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	財産管理監視G	課長名	日野 誠
	施策名	(40)財政の健全化	担当者名	渡部一雅	電話番号	0854-40-1025
	目的	対象 市の財政 意図 健全に運営する。	予算科目	会計 011002 大事業名 053002 中事業名	(内線)	3557
	目的	対象 基金、財産 意図 効率・効果的な管理運用をする。				財産総務管理事業 財産台帳整備事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (21 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市が所有し、管理する施設(土地及び建物・構築物)の管理台帳の整備 1. 土地は、用途別に集計 2. 建物は、用途別に木造・非木造に分けて集計 3. 土地、建物の価格設定

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動																														
	<table border="1"> <tr> <th>24年度実績(24年度に行った主な活動)</th> <th>25年度計画(25年度に計画する主な活動)</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地、建物の調査。ヒアリング。公有財産台帳システムの導入に伴う、財産のデータ整備。整備専門の嘱託職員の配置。</li> <li>・行政財産については、概ね整理が完了。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度からの継続整理作業。普通財産、未分類土地の整理。</li> </ul> </td> </tr> </table>	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地、建物の調査。ヒアリング。公有財産台帳システムの導入に伴う、財産のデータ整備。整備専門の嘱託職員の配置。</li> <li>・行政財産については、概ね整理が完了。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度からの継続整理作業。普通財産、未分類土地の整理。</li> </ul>																										
24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)																														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地、建物の調査。ヒアリング。公有財産台帳システムの導入に伴う、財産のデータ整備。整備専門の嘱託職員の配置。</li> <li>・行政財産については、概ね整理が完了。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度からの継続整理作業。普通財産、未分類土地の整理。</li> </ul>																														
	② 活動指標																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 市有地</td> <td>筆</td> <td>60,779</td> <td>60,779</td> <td>65,476</td> <td>65,476</td> </tr> <tr> <td>イ 市有建物</td> <td>棟</td> <td>484</td> <td>484</td> <td>1,010</td> <td>1,010</td> </tr> <tr> <td>ウ 嘱託職員数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	ア 市有地	筆	60,779	60,779	65,476	65,476	イ 市有建物	棟	484	484	1,010	1,010	ウ 嘱託職員数	人	1	1	1	0	エ					
	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)																										
ア 市有地	筆	60,779	60,779	65,476	65,476																										
イ 市有建物	棟	484	484	1,010	1,010																										
ウ 嘱託職員数	人	1	1	1	0																										
エ																															

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	市が所有し、又は管理する土地、建物	ア 市有地	筆	60,779	60,779	65,476	65,476
		イ 市有建物	棟	484	484	1,010	1,010
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	適正に把握されている。(財産価格、財産区分など)	ア 全ての情報を財産台帳に登載した市有地数	筆	0	0	65,476	65,476
		イ 全ての情報を財産台帳に登載した市有建物数	棟	0	0	1,010	1,010
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
・嘱託職員の任用 2,040千円 ・公有財産台帳システム保守 1,120千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	6,511	12,635	3,160
		事業費計 (A)	千円	6,511	12,635	3,160
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	738	1,047	905
		人件費計 (B)	千円	2,869	4,127	3,546
		トータルコスト(A)+(B)	千円	9,380	16,762	6,706

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併により市域が大幅に拡大し、台帳上管理すべき施設等も増大した。 H18年に「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が策定され、公会計の整備の推進が求められた。	・H23年度に地籍管理システムを導入し、事業の推進を図った。 ・財産台帳整備規則を設けた。 ・公有財産台帳整備基準を設けた。	特になし

事務事業名	財産台帳整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 既存データ(土地、建物)の整理、区分が十分でないものがあり、これら整備を進める事で成果向上の余地がある。また、登記情報を基に整備を進めているため、国土調査が進めば、台帳整備業務が発生する。土地に関しても約60,000筆以上あり、整備には時間を要する。																								
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																									
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 現在、財産台帳が適正に整備されていないため、廃止するとその整備の機会を失い、適正に財産を管理できなくなる。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由 他の事業との関連及び類似事業はなく、他に手段もないと思われる。																								
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (具体的な手段や類似事業名)																									
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																									
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																									
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 財産台帳の根本をなす整備が完了すれば、後は、財産台帳の軽微な移動修正になるので、事業費を削減する事は可能。																								
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																									
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 データの移動修正や、整備について委託する事も可能だが、多大な事業費が掛かる。																								
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない																									
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 全ての財産を対象にしている。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 23年度から、電算システムを導入し、財産の整備を進めた。着実に、整備は進んでいるが、多大な労力を要する。外部委託等も可能ではあるが、膨大な事業費を要する。台帳整備が進み、維持管理状態になれば、作業料が減り、事務の軽減化が図れる。																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
3 今後の方向性【PLAN】																										
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上	●																								
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>普通財産、未分類財産について整備を進める。</li> <li>建物については、現地確認を含めた調査とデータの収集を図る。</li> <li>施設の所管部局と連携を図り、整備を進める。</li> <li>登記情報を基に整備を進めており、国土調査が進めば、台帳の登録内容も変わってくる。国土調査の進捗と財産台帳の整備は比例するものである。</li> <li>不明の財産についての取り扱い。</li> </ul>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								